

日本看護技術学会 第2回若手の会 が福井で開催されました

第18回日本看護技術学会学術集会（於 福井）の交流セッションにて、第2回の若手の会が開催され、学部生・大学院生から若手教員まで多くの若手の皆様にご参加いただきました。第1部では、青森県立保健福祉大学の小池 祥太郎先生がファシリテーターとして登壇され、「研究の初学者として気になること」というテーマで、研究テーマの決め方や研究費の獲得について、ご自身のご経験をもとにご発表いただきました。第2部では、グループディスカッション形式にて、参加者各々の研究紹介やこれまでの研究者経験について話題提供していただき、活発な討議が行われました。また今学術集会よりお昼休みの時間を利用した、若手の交流会も併せて実施され、参加者同士、軽食を囲んで有意義な時間を過ごされていました。



第1部の会場の様子とご発表された小池先生（青森県立保健福祉大学）



第2部のグループディスカッションの様子

次年度の第19回日本看護技術学会学術集会（於 愛知）では、宮城大学の河良香澄先生をファシリテーターに若手の会を開催する予定となっております。

研究推進委員会では、若手研究者育成と日本看護技術学会の発展に寄与することを目的に、今後も若手の会の支援を続けてまいります。**次回の学術集会でも活発な交流が行われますよう、皆様のご参加を心よりお待ちしております。**